

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果の公表について

本市における「令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の概要」がまとまりましたので、お知らせします。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 改善に向けた取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の実施と内容

(1) 調査実施日

令和4年4月19日(火)

(2) 調査対象校・対象学年・対象児童生徒数

小学校 107 校 第6学年児童約 7,400 名、中学校 54 校 第3学年生徒約 6,900 名

(3) 調査内容

ア 教科に関する調査（小学校－国語・算数・理科、中学校－国語・数学・理科）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり、常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や様々な課題解決のための構想を立て、実践し、評価・改善する力等に係る内容
- 上記の①と②を一体的に問う問題

イ 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- ①児童生徒に対する調査（小学校・中学校共に 69 項目）
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査
- ②学校に対する調査（小学校・中学校共に 82 項目）
指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等の状況に関する調査

3 調査結果概要について

(1) 教科に関する調査結果

ア 全国、千葉県、指定都市の平均正答率(%)と千葉市全体の結果(別添概要の p. 1)

小学校 第6学年	国語	算数	理科
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)
千葉市	67	64	65
全国	66	63	63
千葉県	66	63	63
指定都市	66	64	64
全国との比較	+1	+1	+2

中学校 第3学年	国語	数学	理科
	平均正答率(%)	平均正答率(%)	平均正答率(%)
千葉市	69	52	50
全国	69	51	49
千葉県	68	50	48
指定都市	66	52	50
全国との比較	±0	+1	+1

※指定都市の値は公表された各指定都市平均正答率の平均値

イ 本市の調査結果に見られる特徴

①平均正答率より

- ・全国の平均正答率と比較して、本市の小学生は、国語、算数は1ポイント、理科は2ポイント上回っている。中学生は、国語は全国と同等で、数学、理科共に1ポイント上回っている。
- ・千葉県の前平均正答率と比較すると、本市の小学生は、国語、算数は1ポイント、理科は2ポイント上回っている。中学生は、国語は1ポイント、数学、理科は2ポイント上回っている。

②正答数の分布（別添概要の p. 2～p. 4）

- ・国語、算数・数学、理科いずれの教科においても全国とほぼ同等の分布を示している。

(2) 児童生徒に対する質問紙の調査結果（別添概要の p. 10～p. 24）

ア 「将来の夢や目標を持っている、どちらかといえば持っている」

児童→79.8%（全国 79.8%と同等）

生徒→65.3%（全国 67.3%より 2.0ポイント低い）

イ 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う、どちらかといえば役に立つと思う」

児童→94.4%（全国 94.4%と同等）

生徒→91.9%（全国 92.6%より 0.7ポイント低い）

ウ 「5年生まで（1・2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、どちらかといえばそう思う」

児童→76.1%（全国 77.3%より 1.2ポイント低い）

生徒→77.4%（全国 79.2%より 1.8ポイント低い）

エ 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たり2時間以上勉強をする」

児童→30.9%（全国 25.1%より 5.8ポイント高い）「全くしない」は5.0%（0.8ポイント高い）

生徒→41.2%（全国 35.2%より 6.0ポイント高い）「全くしない」は5.6%（2.3ポイント低い）

オ 「今住んでいる地域の行事に参加している、どちらかといえば参加している」

児童→43.9%（全国 52.7%より 8.8ポイント低い）

生徒→32.6%（全国 40.0%より 7.4ポイント低い）

4 別添概要に公表されている図表一覧

(1) 問題別平均正答率一覧(%) [全国・千葉県・指定都市・千葉市] <平成 26～令和 4 年度>

(2) 正答数分布 [全国・千葉市] <令和 4 年度>

(3) 全国平均正答率との差異から見る各学校の経年推移表

(4) 平均正答率の顕著な向上が見られた学校の取組事例<経年推移の比較から>

(5) 児童生徒質問紙調査より [千葉市・全国] <令和 4 年度>

[自己肯定感、将来の夢や目標等に関する意識]

- ・自分には、よいところがあると思うか
- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思うか
- ・将来の夢や目標を持っているか
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしているか

[ICT機器の活用に関する意識]

- ・5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか
- ・学校で、授業中に自分で調べる場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しているか
- ・学校で、学級の友達(生徒)と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか
- ・学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っているか

・学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思うか
〔主体的・対話的で深い学びに関する意識〕

- ・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたか
- ・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたか
- ・5年生まで（1、2年生のとき）に受けた授業では、自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていたか
- ・学級の友達との間（学級の生徒との間）で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができているか

〔家庭での学習に関する意識〕

- ・家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしているか
- ・家で自分で計画を立てて勉強をしているか
- ・学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか
- ・学校の授業時間以外に、1日当たりどのくらいの時間、読書をするか
- ・読書は好きか
- ・普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをするか

〔地域・社会との関わりに関する意識〕

- ・地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがあるか
- ・今住んでいる地域の行事に参加しているか
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあるか
- ・放課後や週末に何をして過ごすことが多いか（複数選択）

5 今後の取組

(1) 児童生徒の確かな学力の定着を図るため、授業改善を推進する。そのために以下のような取組を行う。

ア 市内全小・中学校において、全国及び千葉市学力状況調査の結果等をもとに自校の学力の傾向や課題を把握し、その改善に向けた学力向上アクションプランの見直しを行う。アクションプランは全職員で共有し、検証と改善を重ねながら実践に取り組み、学力向上宣言のもと重点テーマを設定するなどして、次年度以降の学力の向上に生かす。

イ 全国学力・学習状況調査の各教科の結果から考察する改善点を示した「指導改善に向けたポイント」や「授業改善のすずめ」を作成し、各学校に配付して、校内研究での活用を図る。

ウ 資質・能力の三つの柱に基づいた学習評価を的確に行い、指導改善につなげられるよう学習評価に関する資料を作成、提示し、各学校で活用できるようにする。

エ 教科指導における、1人1台タブレットPCを中心としたICTの効果的な活用の促進を図るとともにICTを活用した好事例集を作成し、様々な機会でも周知を図る。

(2) 「教育だよりちば」やWebサイト等を通して、家庭学習の大切さや家庭での児童生徒の望ましい生活習慣の在り方、スマートフォン等の正しい活用方法等、また、長期休業や万一の休校期間に備えての家庭内の役割分担やルール確認等について、広く保護者に発信する。

(3) 教育委員会関係各課と連携し、自己肯定感を育む要素として、コロナ禍においても「どのように工夫したら児童生徒の諸活動（学習活動、学校行事、部活動等）が安全かつ効果的に実施できるか」という視点に立って学校に助言していく。

(4) 児童生徒が、これまで以上に各教科や領域において、地域の様子を調べたり、地域の方々と関わったりする学習を進めるよう学校に助言する。

6 公表日および公表方法

(1) 公表日

令和4年10月19日(水)

(2) 公表方法

市ホームページ

【URL】 <https://www.city.chiba.jp/kyoiku/gakkokyoiku/kyoikushido/26gakuryokutyousa.html>

問い合わせ先

【教科等の指導、今後の取り組み等に関わること】

教育委員会事務局学校教育部教育指導課 電話245-5981

【全国学力・学習状況調査の結果、データの分析に関すること】

教育委員会事務局学校教育部教育センター 電話285-0900